



2021年3月10日

各 位

会 社 名 株式会社 東京ソワール
代表者名 代表取締役社長 村越眞二
(コード番号 8040 東証第2部)
問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 宮本幸三
(TEL. 03 - 5474 - 6617)

「第52回定時株主総会招集ご通知」および「法令及び定款に基づくインターネット開示事項」の記載事項の一部訂正について

当社「第52回定時株主総会招集ご通知」および「法令及び定款に基づくインターネット開示事項」の記載事項の一部に訂正すべき事項がございましたので、ここにお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正のご連絡をさせていただきます。

記

【訂正箇所】(訂正箇所には下線を付しております。)

- ① 「第52回定時株主総会招集ご通知」 29ページ
1. 会社の現況に関する事項 (3) 資金調達の状況

(訂正前)

当期中におきましては、社債または新株式の発行による資金調達は行っておりません。

なお、取引銀行4行との間でコミットメントライン契約を結び、24億円の資金調達枠を確保しております。

また、2020年6月に新型コロナウイルスの感染拡大とその長期化に対する備えとして運転資金を手厚くし、財務基盤を強固なものにするための、借入及び30億円の資金借入枠の設定を行っております。

(訂正後)

当期中におきましては、社債または新株式の発行による資金調達は行っておりません。

なお、取引銀行4行との間でコミットメントライン契約を結び、24億円の資金調達枠を確保しております。

また、2020年6月に新型コロナウイルスの感染拡大とその長期化に対する備えとして運転資金を手厚くし、財務基盤を強固なものにするために、30億円の資金借入枠の設定を行っております。

② 「第52回定時株主総会招集ご通知」 31ページ

1. 会社の現況に関する事項 (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

(訂正前)

新型コロナウイルスの感染の長期化に対する備えとして、運転資金を確保するために、借入及び資金借入枠の設定を行っておりますが、資産を用いた資金調達等も検討してまいります。また、キャッシュ・フローの改善と在庫回転率の向上を図るため、生産量の調整を行っております。

(訂正後)

取引銀行4行との間でコミットメントライン契約を結び、24億円の調達枠を確保しており、24億円の借入を行っております。また、2020年6月に新型コロナウイルスの感染拡大とその長期化に対する備えとして30億円の借入枠の当座貸越契約を結び、12億円の借入を行っております。コミットメントライン契約と当座貸越契約の借入枠の未実行残高が18億円あり、これらにより、運転資金は十分に確保されております。コミットメントライン契約と、賃貸マンションの建設費用として8億円のタームローン契約を結んでおりますが、これらの契約には一定の財務制限条項が付されており、当該条項に抵触しております。しかしながら、取引銀行と緊密な関係を維持していることから、今後も取引銀行より継続的な支援が得られるものと考えております。さらに、財務基盤を強固にするため、資産を用いた資金調達等も検討しております。また、キャッシュ・フローの改善と在庫回転率の向上を図るため、生産量の調整を行っております。

③ 「法令及び定款に基づくインターネット開示事項」 3ページ

個別注記表 2. 追加情報

(訂正前)

記載なし

(訂正後)

(3) 財務制限条項

取引銀行4行との間で、2,400,000千円のコミットメントライン契約と、賃貸マンションの建設費用として800,000千円のタームローン契約を結んでおりますが、これらの契約には一定の財務制限条項が付されており、当該条項に抵触しております。

しかしながら、取引銀行と緊密な関係を維持していることから、今後も取引銀行より継続的な支援が得られるものと考えております。

④ 「法令及び定款に基づくインターネット開示事項」 3ページ

個別注記表 3. 貸借対照表に関する注記

(訂正前)

記載なし

(訂正後)

(4) 当座貸越契約及び貸出コミットメントに係る借入未実行残高

当座貸越極度額	
及び貸出コミットメントの総額	5,400,000千円
借入実行残高	3,600,000千円
差引額	<u>1,800,000千円</u>

以上